

新穂

## 資料館 友の会だより

第六十二号

# 「裂き織り作品」展

同時展示

## 新穂中学校一年生作品

展示期間

令和7年9月9日（火）から

令和7年10月13日（祝・月）まで

主催 新穂さつこりサークル

共催 新穂の歴史と民俗を考える会

「さきおり」をインターネットで検索すると、最初にヒットするのが「咲きおり」である事が多くなった。

「裂き織り」は横糸の代わりに裂いた布を使う織物。江戸時代に贅沢禁止令が出たことで広まったと説明するサイトもあるが、綿花栽培が難しかった北国の庶民にとっては貴重な布地を使い切るリサイクルの知恵で始まったと

考える方が、しつくりくる。

さらにさかのぼれば、縦糸もさまざまな植物繊維を撚り合わせていた時代があったのだろう。

さて、「咲きおり」は実にカラフル。卓上で作業できるサイズの織機を某メーカーが販売し、「咲きおり」と命名したようだ。そこには「裂く」もリサイクルもないが、時代ということだろうか。

新穂さつこりサークルの活動も大きな時代の流れの中にある。

新穂中学の一年生が体験として作品を完成させている。彼ら彼女らも大きな流れの中にいて、この経験をどんなふうに受け継ぎ、発展していつてくれるだろうか。作品を鑑賞することは未来を想像することでもある。

### （展示企画予告）

## 「山田武夫コレクション(2)」

展示期間

令和7年10月18日（土）から

令和7年11月30日（日）まで

山田武夫さんの個人コレクションを展示する第2弾です。その多岐多数に渡る品々から、山田さんの人となりや交友関係が浮かび上がるような展示を目指して準備しています。

### （稲穂のつばやき）

「縄文爆発」と銘打った企画展が好評でした。900名を超える入館者は一つの企画としては記録的です。同時に、「勾玉作り」には60名以上、「裂き織り」も例年を40名以上超える人が体験されました。

島外の旅行者も多かったのですが、「東京の孫を連れて初めて来た」という、嬉しい声も聞きました。資料館が遠く暮らす親族に佐渡や新穂を伝える施設であり続けたと思います。

（若）

### 新穂歴史民俗資料館

0259（22）3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

（ただし、佐渡市民で65歳以上の方は無料となります。確認できる運転免許証などをご用意ください。）

※月曜休館・入館は午後4時半まで

（月曜祝日の場合は翌日休館）

【令和7年9月10日 発行】